

東北マリンサイエンス拠点形成事業「海洋生態系の調査研究」の

データ共有・公開機能の整備運用について

○安田愛・園田朗・華房康憲・齋藤秀亮・長谷英昭・伊勢戸徹・田中克彦・菱木美和・齋藤暢之
加藤賢一・金子純二・山内東・若田千代（海洋研究開発機構）

東北マリンサイエンス拠点形成事業「海洋生態系の調査研究」(TEAMS :Tohoku Ecosystem-Associated Marine Science) とは、文部科学省の海洋生態系研究開発拠点機能形成事業費補助金制度により、東北大学、東京大学大気海洋研究所、海洋研究開発機構が中心となって2012年1月から実施している事業である。本事業は、東日本大震災が東北沿岸域に与えた海洋の物理・化学的環境と生物動態について総合的に調査研究し、海洋生態系の変動メカニズムや回復過程を解明することで、生態系変動や環境予測について科学的知見やデータを提供し、漁業等の復興に貢献することを目的としている。海洋研究開発機構東日本海洋生態系変動解析プロジェクトデータ管理・公開チーム*は、本事業で得られたデータを統合し、水産関連業者、地方自治体、一般市民および世界の研究者等へ広く情報共有できるよう、公開型のデータベースを構築し、関連データの収集と整備を行うことを目的として結成された。

本発表では、データ共有や公開機能を整備運用する一環として2012年秋に策定したデータ・サンプル取扱いルールや、2012年7月に公開したTEAMS公式webサイトについて概要を紹介する。データ・サンプル取扱いルールは本事業で得られる膨大な科学的情報をデータベース化・公開するため取得されたデータ・サンプルの取扱いを定めている。本ルールには「調査計画書」、「調査報告書」、調査により得られた「データ」と「メタデータ」および調査で得られた成果を公表した場合に作成する「成果概要届」の提出が定められている。TEAMS公式webサイト (<http://www.i-teams.jp/>) では、本事業の調査研究内容の紹介や、関連する委員会・イベント等の情報発信を行なっている。2012年12月には本事業の調査計画を掲載したページの公開を開始した。今後は、調査に関するデータベースや得られた成果等について公開に向け着手する予定である。

* 海洋研究開発機構では、本事業に対応するため東日本海洋生態系変動解析プロジェクトチームを設置した。データ管理・公開チームは地球情報研究センター(DrC)のメンバーで構成されている。

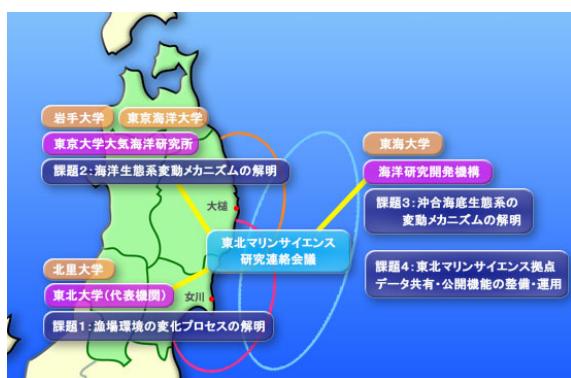


図1 東北マリンサイエンス拠点の構成と実施課題



図2 TEAMS公式ホームページ